



## 造影CT検査 について

検査日時： 月 日（ ） 時 分（開始予定）

様用

- スムーズに行うために、**検査時間の45分前迄**に紹介患者様窓口へお越し下さい。  
**※検査前に当院にて血液検査を予定されている方は60分前迄**にお越し下さい。  
(検査時間を30分以上過ぎると検査ができなくなる場合があります。)
- 当日都合の悪い場合は必ず前もって下記の連絡先にご連絡下さい。
- 精密機器を使用しておりますので、予期しないトラブルが発生する場合があります。この場合予約日時を変更させて頂くことがありますのでご了承下さい。
- 救急患者の対応を優先する場合があります。その場合予約時間が多少ずれる場合がありますがご了承下さい。
- 健康保険証、医療受給者証、**お薬手帳、説明書をお持ちの方**はご持参下さい。

ご予約・お問い合わせ 木沢記念病院 放射線技術課  
直通 0574-24-1460 (内線) 4300  
時間外 (17時以降) 代表 0574-25-2181 から当直放射線技師へ

# 造影CT検査を受けられる方へ

以下をよく読まれた上で同意書、問診票をご記入下さい

## 造影CT検査とは

X線を用いて体の輪切り画像を撮影し、様々な臓器を詳しく検査します。  
検査台に寝ていただき、ドーナツ型の装置により撮影を行います。  
途中で腕の血管から造影剤を入れ同じように再び撮影をします。  
検査時間は約10～20分です。

## 食事・水分摂取・薬について

- 検査前に、200ml以上の水またはお茶を飲んでください。コーヒー、ジュース類は避けてください。なお、心疾患、腎疾患などで水分制限されている方はお申し出ください。
- 検査部位にかかわらず、検査予定時間の2時間前より絶食です（何も食べないで下さい）。
- 腹部検査の方は、検査予定時間の4時間前より牛乳・卵・チョコレート・油物は飲食しないで下さい。
- 常用薬はいつも通り服用して下さい。
- 糖尿病の方は、当日のお食事・お薬については主治医にご相談下さい。（禁忌の糖尿病薬あり）ビグアナイド系糖尿病薬は検査前48時間と検査後48時間まで服用を中止して下さい。

## 検査の注意点

- 心臓ペースメーカーのある方は当日の専門医による検査前問診時にお申し付け下さい。
- 妊娠中の方、妊娠している可能性の方は、主治医にご相談下さい。
- 授乳中の方は、この造影剤注射後**48時間は授乳を中止**する必要があります。

## 検査に入る前に

検査部位にアクセサリ等の金属・金具類を付けている方は外して頂きます。  
また、検査着に着替えて頂く場合があります。

## 検査中は

検査中は、急に動かないようにお願いいたします。  
撮影開始の合図や、息止めの合図は別室からスピーカーを通じて声をかけさせていただきます。  
気分が悪くなったり、不安になった場合は、遠慮なくお知らせ下さい。

## 検査後は

造影剤を尿として体外に出すために、水分制限の必要がない方は、十分に水分をお取り下さい。検査後、気分不良、発疹などの症状がありましたら、速やかにお知らせ下さい。ごくまれに数時間・数日後に発疹やむくみ、かゆみなどの副作用がおこることがあります。このようなことがありましたら、表紙のお問い合わせ先へご連絡下さい。

## 医学的利用について

CT検査で得られた画像やそれに伴う一連の検査によって得られた結果（血液検査など）は、検査を受けた本人が特定できないように配慮したうえで、学術・研究等に利用させていただく場合があります。

## CT検査と放射線被ばくについて

撮影の条件によっても多少異なりますが、頭部のCTでは0.5-1.5m Sv（シーベルト）、胸部のCTでも7.0mSvといったところです。一般に、人間の体に影響が出はじめる放射線被爆の量としては、200mSvとされています。また、意外なようですが、私たちは自然界からも放射線を浴びており、その平均が年間およそ2.4mSvと報告されています。

## 料金について

読影医による問診を含めて健康保険の3割負担の方で、約9千円～1万3千円です。

## ヨード造影剤についての説明

今回のCT検査では、ヨード造影剤という薬剤を注射して撮影する予定です。

この造影剤は病気の有無や病気の性質、範囲といったことを単純CT検査より正確に評価するために用いられるものです。そのため病気への最良の治療方針を立てるためにとっても役立ちます。

### 副作用について

造影剤を使用すると、まれに副作用が起きることがあります。ぜんそくやアレルギー体質、造影剤副作用歴のある方はこの確率は高くなります。副作用の種類は次のようなものです。

#### ① 軽い副作用

吐き気、かゆみ、くしゃみ、咳、咽喉頭（のど）違和感、動悸、頭痛、発疹などです。造影剤投与直後に現れることが多いですが、検査の1~2日後に発疹が現れることもあります。これらは治療を要さないか、1~2回の投薬や注射で回復するものです。このような副作用の起こる確率は約100人につき1~1.5人、約1~1.5%です。

#### ② 重い副作用

呼吸困難、ショック、意識障害、血圧低下、腎不全などです。このような副作用は、入院の上での治療が必要で、場合によっては後遺症が残る可能性があります。

このような副作用の起こる確率は、約6000~9000人につき1人で、約0.01~0.02%です。

病状・体質によっては10~20万人に1人の割合（0.0005~0.001%）で死亡する場合があります。

#### ③ 造影剤を注射する時には

体が熱くなることがありますが、薬剤が血液よりもやや濃いことにより感じるものであり、心配ありません。勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れる場合があります。この場合、注射部位が腫れて痛みを伴うこともあります。基本的には時間が経てば吸収されますが、必ずスタッフにお知らせ下さい。

- ④ 造影剤による副作用は、検査中あるいは検査直後に起こることが多いので、造影剤注入時や注入後に何か異常を感じられましたら、ためらわずにすぐにお知らせ下さい。
- ⑤ 腎機能が低下している方に造影剤を使用すると、腎機能が悪化することがあります。このため、腎機能の悪い方には造影剤を使用するかどうかを慎重に決定する必要があります。腎臓病の有無、透析を受けているかについては、問診票にもれのないように記入して下さい。
- ⑥ **今までにヨード造影剤で副作用の起こった方は、原則としてこの造影剤は使用できません。**もし造影剤副作用歴があれば、造影剤の種類を確認する必要があります。検査予約の段階で必ず主治医にお知らせ下さい。
- ⑦ ぜんそくの方も副作用のリスクが高いため、予約の時に必ず主治医にお申し出下さい。

#### ◆ 検査後の注意点

- この造影剤は主に尿から排出されます。疾病により水分摂取制限をされていない方は、検査後しっかり水分をお取り下さい。
- 造影剤の副作用は、通常は造影剤投与直後から数分後（検査中、検査直後）に起こりますが、数時間から数日後に起こる場合もあります。帰宅後、数日の間に、何か変わったこと（発疹、むくみ、かゆみなど）が起こりましたら、すぐに来院されるか、病院（電話番号；表紙に記載）にご連絡下さい。入院中の方の場合は病棟主治医・看護師にお知らせ下さい。

#### ◆ 検査の内容や造影剤の使用、同意について

- 検査当日何かご不安な点やご不明な点がございましたら、主治医もしくはスタッフにご相談下さい。
- 検査日までに、検査や造影剤を使用することに「同意したけれど撤回したい」、「質問がある」などの場合、検査依頼元の医師に相談して下さい。
- 検査当日になって検査や造影剤を使用することに「同意したけれど撤回したい」、「質問がある」などの場合、院内の担当スタッフにお申し出下さい。